

# 読者プレゼントと8月号特集のサポート情報

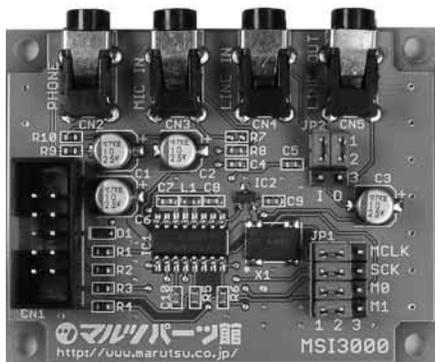
## ■ 実装済み基板と性能アップ基板をセットでプレゼント！

下記 URL にアクセスし、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で20名様に、dsPICマイコン開発に役立つアイテムを2品、セットでプレゼントします。当選のお知らせは発送をもって代えさせていただきます。

▶ <http://www.marutsu.co.jp/dspic/>

### ● アイテム1…高性能音声入出力モジュール MSI3000(写真A)

CODEC IC Si3000(シリコン・ラボラトリーズ)

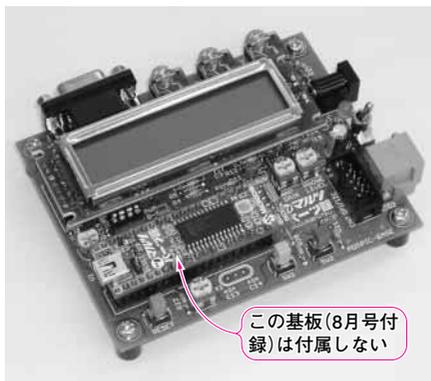


写真A 高性能音声入出力モジュール MSI3000

を搭載しており、8月号付録dsPIC基板や各種のDSPとシリアルで接続して利用できます。

### ● アイテム2…今月号付録基板の部品実装済み基板 MDSPIC-BASE(写真B)

A-D変換、PWM信号の生成、信号処理、パソコン通信、液晶ディスプレイ制御などdsPICのたくさんの機能をこの1枚でマスタできます(dsPICマイコン基板は付属しません)。 〈編集部〉



写真B 部品実装済みのトレーニング・ボード MDSPIC-BASE(dsPICマイコン基板は付属しません)

## ■ 8月号特集のサポート情報と訂正

### ● インTRODクシヨン(p.104 上段)

デザイン・コンテストの条件にある「未発表作品」とは、「団体主催のコンテストに応募したことのない作品やメディアに応募済でない作品のことです。ブログなど、個人的な活動によって発表されたものは、「未発表作品」と判断します。 〈編集部〉

### ● 第1章(p.107 写真5)

付録基板を用いた実験には必ずマンガン電池を用いてください。アルカリ電池(アルカリ・マンガン電池)やオキシライド電池の使用は避けてください。ニッケル水素電池、ニカド電池などの2次電池は絶対に使わないでください。

### ● 第2章(p.119 図30)

tx232char.exeを用いた通信テストや、dspicguy.exeを用いたユーザ・プログラムのダウンロードを行う際は、Windowsのシステム・フォントの大きさの設定を「標準」に設定してください。tx232char.exe、dspicguy.exeはDelphi3を用いて作成していますが、フォント設定が異なると表示が乱れる場合があります。システム・フォントの大きさの設定変更は次の手順で可能です。

Windows XPの場合は次のように設定します。

- (1) デスクトップ上でマウスを右クリックして表示されるメニューで「プロパティ」を選択する。
- (2) 表示された画面の「プロパティ」の「デザイン」のタブの中の「フォントサイズ」を「標準」に設定して「OK」を押す。

tx232char.exe、dspicguy.exeを用いずに通信テスト、ダウンロードすることも可能です。手順は、トランジスタ技術のホームページ(dsPIC付録基板サポート情報)を参照してください。

### ● 第2章(p.124 図36(b))

ユーザ・プログラムを書き込んだあと0x0004～0x0007EのIVT(Interrupt Vector Table)が濃灰色になっていますが、ブートローダはこの領域には書き込みをしません。ブートローダは、0x0084～0x00FEのAIVT(Alternate Interrupt Vector Table)への書き込みを行います。 〈山口 晶大〉

\*

上記以外のサポート情報もあります。トランジスタ技術ホームページ(<http://www.cqpub.co.jp/toragi/>)のdsPIC付録基板サポート情報を参照ください。